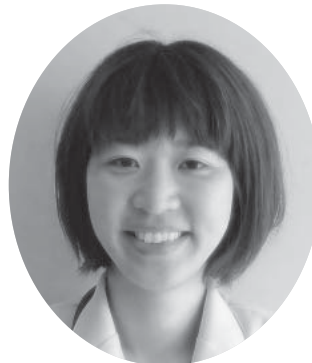




公立芽室病院 第107号 だより

ホームページアドレス
http://memuro.com
または芽室町ホームページのトップ
ページからアクセスできます。

新任医師紹介



内科医員
豊島 早和子

はじめまして、豊島早和子と申します。このたび、公立芽室病院・内科で勤務させていただくこととなりました。どうぞよろしくお願い致します。出身大学は自治医科大学で、今年で医師5年目になります。生まれは函館で道南の福島町、北斗市(旧上磯町)で育ちました。大学では初めて道外に出て、いろいろな方と出会い、貴重な経験もたくさんさせていただきました。大学卒業後は北海道に戻り、道内各地で勤務しています。現在は、内科全般を中心に勉強中ですが、いずれはリウマチ・膠原病を専門としていきたいと考え、北海道大学第二内科に所属しております。

前任地である留萌、羽幌と初めての土地に勤務させていただき、このたび続いてまた初めての土地である芽室町に赴任させていただくこととなりました。

毎年、初めての土地で大変なこともありましたが、そんな体験を覆すくらい、各地でたくさんの方にお世話になり、支えられて、1年1年過ごしたことを思い出します。

私は、芽室を含む十勝管内に来るのは初めてです。初めて2月に芽室に来たときに、帯広から芽室に向かう車中で見えた、冬にも関わらず晴天でまぶしくあたたかい日差しと、その日差しの中の雪をかぶった山々がとても印象的でした。病院からもそんな山々が目前360度パノラマのように広がり、素敵な土地だなあと感動したことが強く記憶に残っております。そんな素敵な景色を見て、新しい土地で決意を新たにすることができました。

町のこと、地域のことなどわからないことも多く、戸惑うことも多いと思いますが、芽室町に、病院に早く慣れ、微力ではありますが、何か少しでも皆様の力になれるよう、精進したいと思います。医師としても、一人の人間としても未熟者の私ではありますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

宮本先生お疲れ様でした

～3月で退職された宮本名誉院長に
今の心境をインタビューしました～

Q：26年前に初めて芽室に来た時、
どのような印象でしたか？

最初は場所も知らない町だったよね。芽室に来た時、てっきり帯広のいいホテルに案内されると思ってたら古い新嵐山荘だった時には“素晴らしい”とはならなかったよね。それに、当時の事務長が長靴姿で迎えに来た時には“なんじゃこりゃ！”と思ったね(笑)。病院にはエレベーターがなくて、医者や事務みんなで患者さんを担架で運んだり、出張診療に行ったら入り口に熊情報が貼ってあったのも驚いたね。でも、ある意味のどかだったかもしれないね。

Q：院長として着任した頃の思い出は
ありますか？

着任した時は、病院の評判が悪くて、赤字経営も大きな問題だったね。それに院内では僕の着任を必ずしも歓迎するムードではなくて、四面楚歌ってこういうことを言うのかな…と感じたよね(苦笑)。それでも、恩師が色々とバックアップしてくれて、絶対にその思いに応えたいと必死でやったね。一人でも多く患者さんに来てほしくて、町民が集まる健康まつりで婦長をモデルに胃カメラの実演をしたり、通常勤務を終えてから医師確保や議員さんの集まりに顔を出したりで自分の時間はなかったな。とにかく“一円だけでも黒字”にしたいし、患者さんを増やしたくて。だから患者さんが来てくれることが本当に嬉しかったよね。

Q：地域医療にこだわってきた理由は
なんですか？

医師を目指したのは“心と身体を診る”心療内科に関心があったから。親の希望もあって旭川医大に進学したんだけど、そこで恩師である並木教授に出会って、病気だけを診る医師じゃなくて“病気をもち人を診る医師”になろうと強く思ったね。大学病院でも働いたけど、地域病院に出た時に人との距離がすごく近くに感じられて本当に楽しかったね。その時に、自分は地域の方が合っていると感じて、ただ一生懸命に人と関わることにこだわり続けてきたら、結果的に“地域医療”をやっていることになってたんだろうね。

Q：医療に携わる者として、また人と接する
時に大切にしていることはありますか？

“やさしさ”と“思いやり”がない人が医療をやっちゃいけないよね。人と接する時に僕は必ず微笑むの。赤ちゃんやお母さんを見ると自然と笑顔になっちゃうんだけどね。あとは“威張らない”ことかな。

Q：これから楽しみにしていること、
やりたいことはありますか？

旅行！僕は鉄道が好きで、ただ乗っていたい。お酒を飲みながら移り行く景色をポケットと見るのがいい。あと、これまで負担をかけてきた妻との時間は大切にしたいね。洗い物をしたり、たまに料理を作ったりしたけど、本当に何もなかったからね。落ち込んだ時の回復法は、妻と話しをすることだったし、色々支えてもらったからね。2年前の入院で少し人生観も変わって“人はいつ死ぬか分からない”と改めて感じた。これからは夫婦互いに良い時間を過ごせたらと思うね。他にも色々あるけど恥ずかしいから内緒…。

Q：健康の秘訣は何ですか？

どんなに寒くても、毎朝わんこ町内を散歩するのは一つかも。大股で歩いたり、人に見られない所で後ろ向きに歩いたり。あと、わりかし楽天家なのも健康の秘訣なのかもね。

Q：芽室に来て良かったですか？

良かったと思うよ。来た頃は色々大変だったけど、26年間一生懸命やってきたと思う。最近、過去のことを思い出すと懐かしくて“過去は全て美しい”んだよね。僕が生まれて住んだ中で芽室が一番長い。第二の故郷というよりある意味第一の故郷になるかもしれないね。患者さんに「先生いてくれるんだね」と言われると嬉しいし、死ぬまでここ(芽室)にいるつもり。

Q：最後に、町民の方々に向けて
メッセージをお願いします。

もう少し外来をやるので、何かあったら来てね(笑顔)。

宮本先生は、4月から嘱託医として月・火曜日の午前中、内科外来で診療にあたります。

「看護の日」イベントのお知らせ 「健康寿命をのばそう」

日時 5月12日(火)
9時30分～11時30分

場所 公立芽室病院 1階ロビー

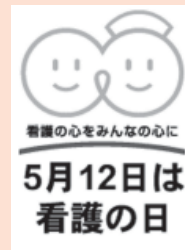
内容 *血管年齢測定

*血糖値測定 *肌測定

※アンケートに答えてくれた方に粗品プレゼント

※すべて無料です

どなたでも
参加できますので
この機会に
どうぞご利用ください。



お問い合わせ

公立芽室病院 看護科

☎62-2811

✉hospital@memuro.com